

※ 必ずお読みください。

大会開催における注意事項

今大会は、コロナ感染が拡大してから国内で開かれる初めての大会になります。

大会が成功し、今後の国内の大会がコロナ感染前に戻れるよう運営を行っていきたいと思いますので、各チームの皆様及び個々の参加者の方にご協力をいただきますようお願いいたします。

また、今大会でクラスターや感染者が出ないよう厳しく規制することもあります。今後の大会につながるようにしていきたいと思いますのでご協力をお願いします。

1 会場でのコロナ対策について

- ① 大会参加にあたり、当日の体温確認を受付で行います。
- ② 大会当日に具合が悪い状態、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合）での会場への来館はおやめください。
- ③ 具合が悪い場合は、チーム代表者から大会事務局へ連絡をお願いします。
- ④ 大会終了後、1週間以内にコロナ感染を発症した場合、チーム代表者をとおり、大会事務局へご連絡をお願いします。
- ⑤ 会場のある東京都台東区（自治体）のコロナ対策等に従うようにお願いします。個人の考えで判断はしないようにお願いします。
- ⑥ 会場に消毒液を準備しています。こまめに消毒をお願いします。
- ⑦ 会場では、不織布マスクの着用をお願いします。
- ⑧ 各チームは決められた待機場所で間隔をとって待機するようにお願いします。
- ⑨ 横断幕については、設置をしないようにお願いします。
- ⑩ 会場で行動する際には、受付の際に渡したリストバンドを身に付けてください。
- ⑪ 関係者以外は、アリーナ、待機場所には入れません。
観客席は、台東区民にのみ解放されます。
- ⑫ 各自が出したゴミは、各自でお持ち帰り下さい。会場では捨てないようお願いします。

2 競技運営でのコロナ対策について

(1) 試合チーム

- ① 競技コートのあるアリーナには、試合に関係があるチーム及び競技役員以外は入れません。
- ② 競技開始前の公式練習は大会事務局が準備したボールで行います。
- ③ 公式練習以外では、ボールの使用をご遠慮下さい。
- ④ コートのアナウンスがあるまでは、アリーナへ入ることは出来ません。
- ⑤ サブアリーナが待機場所にならなかった場合は、ボールを使用しないアップ会場として使用する予定です。（大会当日に、ご連絡をいたします。）
- ⑥ 競技中は、コート内ではマスクの着用はしなくてもよい。ただし、個人の判断とします。
- ⑦ ベンチにいるスタッフ、控え選手は不織布マスクを着用すること。
- ⑧ コートチェンジは行わない。
- ⑨ テクニカルタイムアウトは行わない。
- ⑩ タイムアウトやセット間では、消毒を行うこと。
- ⑪ タオル、飲み物は各自が用意し、使用するときは各自で行うこと。スタッフが触る場合は、手袋等を使用すること。

(2) 競技中スタッフ

- ① 審判、線審、スコアラー、得点を行う時は、不織布マスクの着用をすること。
- ② スタッフは、必ず自分の消毒用スプレーも持っていていただければと思います。
- ③ 審判は、電子ホイッスルを使用します。各自で準備をお願いします。
- ④ 推奨する電子ホイッスルは、モルテン 大音量電子ホイッスル 品番 RA0020
- ⑤ 線審は、ゴム手袋をしてフラッグを使用します。
- ⑥ ボールリトリバーは、ゴム手袋をつけ、ボールを消毒し、サーブ時には消毒後のボールを渡します。
- ⑦ 試合が終了しましたら、オフィシャルを行ったチームでコート、ベンチ等の消毒を行います。

3 その他

- ① コロナ感染対策については、監督者会議で説明をします。
- ② 消毒液、タオル、ゴム手袋等は、大会事務局で準備します。
- ③ 内容の問合せ先は、夏パラバレーボール選手権大会（テストマッチ）について
夏パラバレーボール選手権大会（テストマッチ）実行委員会
日本パラバレーボール協会 電 話 03-6806-0468
Eメール info@jsva.info